

吉田神社で講師の佐野修治氏による諸注意があった。触るだけでも毒のカエンタケです。キノコ観察会のコンセプトの説明があった。

「キノコは人間と同じ生物であり大切にしてほしい。植物は生産者で動物は消費者と考えると、キノコなど菌類は、動植物が死を迎えたとき後の遺体を分解し土に戻す、すなわち有機物を無機物にする役割を持っていて、自然界の循環に貢献している。樹木に寄生するキノコはその樹木の代弁者であり、森の環境を知る指標でもある。是非キノコを通して地球全体をみる目を養ってほしい。上から目線でなくキノコ目線でみてほしい。この観察会は命の観察会であり、同時に命に係わる観察会でもある。」



ヒラタケ（シメジとして売られている）  
平なキノコという意味  
「今昔物語」の中にも登場する



クジラタケ



キクラゲ（漢字は木耳）



コフキササルノコシカケ



子どもはいつもキノコ目線  
マンネンタケを発見した少年



成人段階のマンネンタケ



カワラタケ(確かに瓦のよ

うです)



吉田山の三等三角点(標高105m)

山頂公園より東に大文字山を望む



待ちわびた緊急事態宣言の解除後とあり講師、委員含め総勢81名の参加者



吉田山公園で昼食



カラカサタケ（人間でいえば幼児期）  
名前は中国の唐の傘に似ていることから由来



カラカサタケ（人間でいえば成人期）

コメント [TH1]:



カラカサタケ（人間でいえば老年期）

同じ場所で、カラカサタケの一生を垣間見ることができた。

「老いたカラカサタケは、横たわっているところこそ、すばらしい。自分の体を大地に提供し、魂は残っていく」

佐野先生の話は実に示唆に富んでいる。



ヒイロタケ（緋色）



ヒイロタケを利用したキノコ染め



参加者の皆さん、10月とは思えないような暑い一日ご苦労様でした。  
佐野先生、キノコを通して人生や世界を見る新たな視点を教えていただき有難うございました。

写真と記録 谷角裕之委員

|      |                |      |   |
|------|----------------|------|---|
| 写真添付 | なし<br>※どちらかを削除 | 写真枚数 | 枚 |
|------|----------------|------|---|

#### ご注意

1. 原稿ご入稿はメールに本文書を添付して、事務局（[info@kyoto-gakuren.jp](mailto:info@kyoto-gakuren.jp)）宛にお送りください。
2. 記事内に掲載する写真には、名前（キャプション）をファイル名として、添付してください。  
※本フォーマット内に画像を貼り付けしないでください。
3. 掲載写真に優先順位がある場合は、ファイル名に「100の様子」など数字を振ってください。
4. 開催要項等の文書やチラシ・ポスターなどは、本文書とは別に添付してください。

京都府山岳連盟 事務局